

JC 2009 NEWS

社会変革に挑むカタリストたれ！
わがまち北九州への誇りを胸に

Kitakyushu JC Report 2009

社団法人北九州青年会議所

Junior Chamber International Kitakyushu

<http://www.kitakyushu-jc.jp/>

【事務局】

〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町1-35

北九州市立商工貿易会館6F

1-35-6F, Furusenba-machi Kokura-kita, Kitakyushu, Fukuoka

TEL 093-531-7910 / FAX 093-551-0212

E-mail : room@kitakyushu-jc.jp

10
October

JCI Junior Chamber International Kitakyushu
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

2009年10月号



Matsuō
Koji

社団法人北九州青年会議所 第57代理事長

松尾 孝治

今月号の対談は戸畑出身で

福岡県知事を務められる

麻生渡氏をゲストに

松尾理事長と語り合っていました

福岡県知事

麻生

Aso
Wataru



北九州は実直で先見性がある、
そして「環境モデル都市」。

松尾 ずばり、麻生知事から見て北九州市は
どんなまちか、率直な意見をお聞かせ下さい。

麻生 まず一番目に、北九州市は極めて実直なまちです。官営八幡製鐵所
から始まり、そして製造業を中心に発展してきました。ですから、
仕事をする人は三交代が当たり前で朝でも夜中でもきちんと働く。
非常に真面目に勤務するという事が、きちんと受け継がれているま
ちであると思います。二番目に、進取の気性があります。北九州市
の課題は何と言っても産業公害問題だったわけですが、これを克服
するというその課程においては若い世代の役割が非常に大きかった
と思います。結局、若者が新しい事、また先見性のあるものに取り
組んできたという事は、まち全体が新しい課題を見抜き、それに
取り組んでいこうという進取性そして伝統があるわけです。三番目
には、何と言っても北九州市は環境モデル都市です。つまり、世界
中が『北九州の実践事例を学んでいこう』と、その素晴らしい成果
はまさに今後、世界中の手本になる。もっと言うと、世界文明の先
端を行っているという事なのです。環境問題というのは温暖化をは
じめ、21世紀の最も重要な課題の一つです。その中で北九州市は、
源のリサイクルに先行的に取り組んで最も優れた実績をあげてい
ますよね。世界に先駆けて、水素社会づくりということもやってい
ます。そして四番目に、お祭り好きですよ。『わっしょい百万夏ま
つり』もそうですが、各地でもお祭りがありますよね。私も小さい
頃、7月と言えば必ず『祇園さん、祇園さん』と言って戸畑の提灯山
笠に行っていました。賑やかで、陽気でお祭り好きであるという
事ですね。少しいただきまして頂きますけれども、戸畑の提灯山笠
は、京都の祇園祭りに代表される優雅さと、博多山笠のような活動
的な面の両方の良さを持ち合わせている祭りです。おそらく日本で
もっとも洗練された祇園祭りだと思いますね。

北九州の先人たちの精神的な軸は「公の精神」。

松尾 北九州市というまちを見つめ直した時に、例えば八幡製鐵所を誘致
したのも、先見といえますか先駆的に先人たちが動いたからだと思
います。都市公民館は昭和20年代の八幡が日本の発祥地だとも聞
いておりますし、五市対等合併なども当時、世界的にも珍しい事に
チャレンジした結果ですよ。

松尾 これらってバラバラに見えても、実は市民性として何か精神的な軸
があって全てが繋がっているのではないかと思います。そして北九
州JCとして出した答えが、その精神性というのは「公の精神」だっ
たのではないかと考えました。「公の精神」、つまり自分たち個人の
事だけではなく、まちの事、国家の事、未来の事を考えるからこそ、
これから起こるであろう課題に対して、先人たちが先見的に取り組
んできた。だからこそ、北九州市の今の姿があり、近代国家日本を
築くにあたり大きな力を発揮してきたとの見解です。いま私が話し
た点について知事はいかが考えますか？

日本の産業革命、近代化の原点である北九州は、
困難な公害問題も一番先に経験し克服した。

麻生 日本の産業革命、近代化というもの一つの大きな原点、出発点と
いうのは何と言っても北九州市なわけですよ。官営八幡製鐵所には、
確かにドイツの技術が入りましたがもううまくいかなかった。結
局、溶鉱炉を作る段階から、技術的に非常に苦労しながらも自ら
作っていったという歴史を有しています。その精神というのは日本
全体の命運がかかるという緊張感と、目標を持ってやっていたから
だと思えます。やはりその伝統がずっと引き継がれていると言う事
だと思えますよ。北九州市というのは、今の環境問題を含め、日本
に影響を与え、また日本の進路を先取りして示していくという事で
やってきましたからね。

松尾 そのような流れから考えると、過去に困難な公害を克服できたの
も、軸は同じなのかなと思います。

麻生 七色の煙ってよく言われるでしょ。私たちが子どもの頃は、帆柱山
の上から見ると本当に七色の煙がもくもくと立っていました。しか
し、誰もがそれをものすごく喜んでいましたね。『これぞ、日本の産
業復興の象徴だ』と言って。ところが気付いてみたら、それが原因
で喘息になったりといったいわゆる公害を引き起こしたのですが、
これでは駄目だとそこからの努力が凄いわけです。それはまさに日
本の産業近代化の最先端を走り、同時にそれが生んだ最も難しい問
題や課題も、一番先に経験し、それを克服したというわけです。

松尾 今のお話を聞きながら、改めて自分が北九州市民である事を誇りに
思いました。

10月15日、社団法人日本青年会議所理事会にて
社団法人北九州青年会議所は、2012年度 第61回全国会員大会の
主管LOMに決定しました！ 多くの皆様にご支援・ご協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。

2012年度日本JC全国大会の 主管青年会議所として正式に決定！

松尾 知事をご存知のとおり、北九州JCは(社)日本青年会議所の全国大会誘致運動を行って参りましたが、『なぜ北九州市で全国大会をやらなければならないのか』という誘致理念は、先ほど申した「公の精神」がベースとなっています。先人たちが持っていたその精神性を市民が取り戻し、大会開催を起爆剤にしてそれを国全体に伝えていき、日本という国家を建て直していこうという内容です。今、知事の話をお聞きますと、うまく合致して、この瞬間からまるで社会性を帯びて私たちの誘致理念がようやく一人歩きを始めたような気がいたしました。

麻生 あらためて、主管決定、本当におめでとうございます。

松尾 有難うございます。ここからは、知事から全国大会に向けて、色々お話を聞きたいと思っています。全国大会北九州大会での理念の発信、コンベンション効果も含めて期待するものがございましたら、ぜひお聞かせ下さい。



北九州を見て、学んで、知っていただき、 その刺激や感動を持ち帰っていただく「全国大会」に。

麻生 全国のJCの若者が北九州市に集まり、「公の精神」という今の社会にとって非常に重要なテーマを扱って全国大会を開くと言う事は、まさに今の時代にとって非常に大切な事だと思います。それと同時に、北九州市にきた時に、全国の青年諸君が北九州市で何が起こっているのか、何を目指して活動をしているのか、どういう成果をあげているのかという事を、是非知って頂きたいですね。五市合併を含めた北九州市の歴史は、やはり近代日本産業の形成史であり、また、近代的な日本を作りあげていく課程における苦闘の歴史です。これを是非知ってもらいたいと思います。21世紀の環境問題を中心に新しい産業を作っていくというあの「学術研究都市」もそうです。一つの都市であれだけの学研都市をつくったところは無いのですからね。凄い事です。そういった事をぜひ学んで、多に刺激を受け、また感動を受けて持ち帰って頂きたいと思います。

松尾 北九州市でしか出来ないものもあると思いますし、北九州市でしか見る事の出来ないものも沢山あるでしょうから、そのあたりは、私たちも自信を持って見てもらいたいと思っています。

麻生 もう一つ自信を持って見てもらいたいものがあるのですよ。それは文化です。北九州市は、工業都市だというイメージがあるのですが、一方で松本清張さんと松本零士さんをはじめ、非常に優れた芸術家や作家が出ています。北九州市は独特の芸術文化、作家を育てるといふ力もあるのだという事も、是非皆様に知ってもらいたいと思っています。

松尾 本当に多くの方々が北九州市から羽ばたいて、全国的、いや世界的に文化面でも活躍されているという事は、私自身も大変誇りに感じています。全国大会を通じて是非発信していきたいと思っています。

麻生 是非ともお願いします。楽しみにしておきますよ。

松尾 有難うございます。これからも、JCそして私たち青年世代をどんどん応援して頂きたいと思っています。本日は大変お忙しい中、有難うございました。

麻生 こちらこそ、有意義な時間を有難うございました。そして2012年度は素晴らしい全国大会の開催を大変期待しています。

社団法人日本青年会議所 九州地区 福岡ブロック協議会

アカデミーグループ第4回全体事業

開催日 ■ 9月26日(土)・27日(日)

会場 ■ 国立夜須高原青少年自然の家

9月26日・27日、朝倉郡の国立夜須高原青少年自然の家にて福岡ブロック協議会アカデミーグループ第4回全体事業が開催されました。

今回は「出会い・ふれ合い・語り合い～合への挑戦～」をテーマに、5委員会あるアカデミーのメンバーがランダムに班を構成して「出会い」、遊び心を取り入れた楽しい競技を各班で競って「ふれ合い」、また夜の懇親会では、各LOMの理事長や歴代のアカデミー委員長に参加頂いて討論会を行い、JC活動について本気で「語り合い」いろいろな学びを得られました。

この事業を通して、11月3日の閉校式に向けてのメンバーの絆が強く深まる場となりました。

(社)日本青年会議所 九州地区 福岡ブロック協議会 アカデミー第5委員会 桑原 悠太



社団法人日本青年会議所 九州地区協議会 九州経済活性化委員会

パネルディスカッション 九州一体で取り組む地産地消と学校給食

日時 ■ 10月4日(日) 13:00～

会場 ■ 北九州市立生涯学習総合センター



10月4日、北九州市立生涯学習総合センターにおいて、(社)日本青年会議所九州地区協議会九州経済活性化委員会主催による「九州一体で取り組む地産地消と学校給食」をテーマとしたパネルディスカッションが開催されました。

当日は、北九州JC出向常任理事である鷹野秀史九州経済活性化委員会委員長の挨拶に続き、北橋健治北九州市長、JA青年部関係者、学校給食関係者、内田晴也九州地区協議会会長をパネラーに、学校給食への九州産使用率の向上をいかに進めていくべきかを積極的に議論していただきました。その結果、北橋市長より「今年度中に品目数で、九州産の素材を100%使った学校給食の日をまず一日実現します」とのお言葉を頂くことができ、参加者にとっても非常に有意義な時間となりました。

今回の取組みを足がかりに地産地消に関心を持っていただき、九州産農作物の使用率を高め、農業を通じた九州経済の活性化に繋げていきたいと考えています。

(社)日本青年会議所 九州地区協議会 九州経済活性化委員会 会計幹事 井上 秀作

10月度例会

テーマ「今頑張れ、今頑張らず、いつ頑張る」

講師 元プロ野球選手・野球解説者 黒木 知宏 氏

日時■10月9日(金) 18:00～

会場■リーガロイヤルホテル小倉



10月9日リーガロイヤルホテル小倉にて、(社)北九州青年会議所10月度例会が「与えられた機会をチャンスに変えよう」をテーマに、JCメンバー他、市民の方や市内の野球チームにも参加していただき講師例会として開催されました。

講師にお迎えした元プロ野球選手で、現役当時は「千葉ロッテマリーンズ」のエースとして活躍された黒木知宏氏は、野球解説のかたわら「ジョニープロジェクト」を立ち上げ、野球を通じ、技術はもちろん「自ら考え行動を起こす姿勢」「人と人とのコミュニケーション」「相手の気持ちを考える大切さ」等、これまでの経験と熱い気持ちを子どもたちに伝え現在も活躍されています。

講演会では、「今頑張れ、今頑張らず、いつ頑張る」をテーマに、幼少から現役時代までを通じて野球から学んだことや、自らの目標達成のためにひたむきに日々努力をした経験等をお話いただきました。また、講演後も活発な質疑応答が行われ、メンバーをはじめ、参加していただいた市民の方々が、様々な目標に積極果敢にチャレンジするヒントや気づきを得る例会となりました。

例会委員会 石崎 信考

北九州ドリームサミット2009発信会議

開催日■10月11日(日)

会場■北九州芸術劇場 中劇場

10月11日北九州芸術劇場中劇場にて、北九州ドリームサミット2009(以下、KDS)発信会議が開催されました。

当日はJCメンバー、KDS参加中学生(以下、KDS議員)を含め約400名もの来場がありました。参加したKDS議員は、大勢の観客の前で4月から始まった各地区の個別活動内容を写真や劇などを交えながら発表し、活動の中で実感した「環境を守ることの大切さ」を身近な視点から訴えました。その後、KDS議員全員で作上げた「KDS環境宣言」を発表し無事閉会しました。会議の最後でこれまでの個別活動の映像が流れると会場全体から大きな拍手が沸き起こり、観客からは興奮冷めやらぬ様子で、「中学生がこんな素晴らしい活動をしているとは知らなかった」「感動しました」などのお言葉を頂くことができました。

今回の発信会議で、JCとして関わる今年度のKDS活動は集大成を迎えましたが、植樹活動などの個別活動はこれからも引き続いていくことになります。

今後の個別活動や来年度の事業へのご支援・ご理解をよろしくお願い致します。

アカデミー第2委員会 矢野 秀貴



2009年度 社団法人日本青年会議所

第58回 全国会員大会 沖縄那覇大会

開催日■10月15日(木)～18日(日)

会場■沖縄県那覇市他



10月15日～18日に第58回全国会員大会沖縄那覇大会が、『やさしくあるためにつよくあれ!～アドマイヤー型社会の実現こそが「真日本建国」を導く』を大会テーマに、また『「ゆいまる!」～結ぶJAYCEEの心、美ら島で奏でる平和への誓い～』を大会スローガンとし、沖縄那覇を中心に開催されました。

15日に開催された理事会では、三年間の全国会員大会誘致運動の結実となるべく、松尾理事長が「LOM・ブロック・地区のすべてのメンバーの想いを込めて最終スピーチを行い、我々北九州JCが「2012年度第61回全国会員大会主管LOM」に決定した歴史的な瞬間となりました。また各種フォーラム・セミナーおよび懇親会・大会式典等を通じ、今大会を主管した(社)那覇青年会議所、また副主管であった沖縄ブロック協議会各地会員会議所の発信する「ゆいまる精神」を心から感じる事が出来る大会となりました。大会2日目の大懇親会では、北九州JCが振舞う「小倉発祥焼うどん」「北九州の地酒」が大反響をよび、全国の同志に北九州を広くアピールすることができました。また、THE BOOMの宮沢和史氏とSPEEDのスペシャルライブを楽しみ、大いに盛り上がりました。

今大会、北九州JCからは100名を超えるメンバーの皆様に参加いただき、大会運営や設え、そしておもてなしの心を学ぶべく積極的・献身的に参画していただいたこと、特に全国大会運営会議を始め、JCガバナンス確立会議や総務委員会等への日本JC出向者の皆様が先頭に立ち、頑張っていたことを報告させていただきます。

環境首都市民発信委員会 委員長 茂木 一

10月度入会された新入会員のご紹介



小南 勝久 君【コミナミ カツヒサ】
生年月日 ■ 昭和52年10月25日
勤務先 ■ アリコジャパン・AIU保険会社
紹介者 ■ 木村・泉



久野 茜 君【ヒサノ アカネ】
生年月日 ■ 昭和54年6月4日
勤務先 ■ RURAL
紹介者 ■ 瓜生・河内



後藤 俊一朗 君【ゴトウ シュンイチロウ】
生年月日 ■ 昭和60年3月21日
勤務先 ■ 医療法人 医和基会
紹介者 ■ 花田・鶴田



山田 康一郎 君【ヤマダ コウイチロウ】
生年月日 ■ 昭和47年11月7日
勤務先 ■ 山田港運倉庫(株)
紹介者 ■ 安東・向野・得丸



山田 忠弘 君【ヤマダ タダヒロ】
生年月日 ■ 昭和52年7月4日
勤務先 ■ (株)アーテックハウス
紹介者 ■ 小嶋・前田



目原 和憲 君【メハラ カズノリ】
生年月日 ■ 昭和49年3月15日
勤務先 ■ 極東ファティ(株)
紹介者 ■ 倉田・内川



佐々木 高志 君【ササキ タカシ】
生年月日 ■ 昭和52年4月19日
勤務先 ■ 日本興亜損害保険(株)
紹介者 ■ 中越・大坪・山賀



高山 智江 君【タカヤマ トモエ】
生年月日 ■ 昭和50年8月30日
勤務先 ■ (有)夏目商店
紹介者 ■ 吉武・片山



畦津 良介 君【アゼツ リョウスケ】
生年月日 ■ 昭和59年10月11日
勤務先 ■ (株)アルファ
紹介者 ■ 清水・山賀



岩永 武士 君【イワナガ タケシ】
生年月日 ■ 昭和59年5月7日
勤務先 ■ 岩永工業
紹介者 ■ 高倉・石川・内川

北九州の応援団

北九州JCは、ニューウェーブ北九州・到津の森公園をはじめ、わがまち北九州を応援します。



月刊ニューウェーブ通信

新チーム名称・エンブレムが決定!

Giravanz

KITAKYUSHU

ギラヴァンツ北九州

イタリア語で“ひまわり”という意味の「Girasole」と“前進する”という意味の「Avanzare」を組合せた造語。ひまわりは、ホームタウンである北九州市の市花で、太陽に向かって力強く伸びていく元気を象徴するもの。「Girasole」は、本来「ジラソール」と発音するが、ここでは「ジラ」部分を「ギラ」と読み、太陽の輝きと躍動を想起させる強い語感とした。



SEICHO MATSUMOTO 100th Anniversary Year | 2009 Kitakyushu City

松本清張生誕百年

記念事業・イベント開催中!

詳しくはホームページで <http://www.seicho-100.com/>



モチーフはチーム名にも反映している「ひまわり」。ひまわりの花びらと輝く太陽の赤を、ひまわり水晶「ジラソールクリスタル」という宝石をイメージして構成。中央には、ホームタウンである北九州市の「北」の文字を配置。

ホームゲーム日程 **13時 KICK OFF**

今期ホームゲーム、残すところ2試合

11月15日(日) **VS FC琉球**

11月29日(日) **VS 町田ゼルビア**

■会場：本城陸上競技場(八幡西区御開4-16-1)

■入場料：大人 1,000円(前売 800円)



採用者には2010年ホームゲームペアご招待!!
**マスコットキャラクター
愛称大募集!!**

応募締切：2009年11月30日

※当日消印有効

このキャラクターは、小倉南区の曾根干潟に飛来する「ズグロカモメ」をモチーフにしています。ズグロカモメは、黄海や渤海沿岸で繁殖し、冬季になると大韓民国や日本、ベトナム、台湾に南下し越冬します。

詳しくはHPで <http://newwave-k.co.jp/>

到津の森公園

Staff Column
Event Information

飼育員の企画展「員展」11月15日まで開催中!

場所●管理センター2階ロビー



「員展」とは、動物園で働く飼育員のことをもっと知っていただくための企画展です。飼育員は、365日、日々休まず動物の世話をしていますが、皆さんに動物のことを伝える役割もあります。会場に集められたポスターや冊子、看板、グッズの数々は、いずれも飼育員自身が動物園や動物のことを皆さんに伝えるために企画・デザインし、表現したものです。今回は、動物でなく、動物園で働く飼育員にスポットを当て7年間の歴史を振り返ってみました。動物に負けない、活き活きとした飼育員一人ひとりの表現活動を見ていただき、その幅広い仕事に興味をもっていただければ、幸いです。

到津の森公園 飼育展示係長 勝原 和博さん

到津の森からの会主催イベント

夜ZOOで秋まつり

ショーのあとには
サイン会・撮影会も予定!

仮面ライダー

ディケイドショー

時間●17:00~

場所●森の音楽堂

©2009 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映



わくわく体験教室

11月15日(日)

クリスマスリース作り

ウッドクラフト

~小枝で動物作り~

詳しくはHPで

<http://www.kpfmmf.jp/zoo/>

11月1日(日)19:30まで営業

スタンプを集めて景品をもらっちゃお~(先着50名)

スタンプラリーで到津探検隊!!

時間●13:00~ 場所●ふれあい動物園

花火と音楽のコラボレーション

星降る花火ファンタジー

時間●19:00~ 場所●芝生広場

その他にもイベント盛りだくさん! 出店もあるよ!!

参加無料

11月29日(日)

クリスマスリース作り

時間●13:00~15:00

場所●里のいきもの館

料金●【動物作り】100円

【リース作り】300円

※受付は13:45まで(材料がなくなり次第終了)。

別途入園料が必要です。



OTONANOSSENKA@KITAKYUSHU JC

できることから始めよう!

③もったいない MOTTAINAI

一昔前、私たちにとって外食は、特別な事でした。ドキドキしながら椅子に腰かけ、慣れないフォークとスプーンを使い特別な時間を過ごしていました。

今や飽食の時代。手頃な金額で外食ができ、お金さえ出せば食べ物に困る事はない時代となりました。

気がつくと平気で食べ物を残し、「太らない様に」と言い訳をしている自分がありました。

ある日母が、孫たちに「御百姓さんが作ったお米を粗末にすると目が見えなくなるよ!」と言っているのを聞き、「そうだった」と反省しました。

食事を頼む時は適量。足りなかったら追加すればいいのです。「いただきます」の言葉には「命を頂きます」という意味が込められています。食事をする時に様々な命を頂いている事を忘れないようにしましょう。

OTONANOSSENKA推進委員会 委員長 井上 剛

会員拡大委員会より最後のお願い

本年度も、あとわずかとなってまいりました。

本年度、100名の会員拡大を目指し、会員の皆様には多大なるご協力をいただきました。

おかげさまで、現段階、35名の入会を達成できました。誠にありがとうございます。

しかしながら、目標の100名にはまだ到達していません。

毎月、例会やJコンで仮入会者のご紹介をお願いしてまいりましたが、そのお願いも今年はこれが最後となりました。

会員拡大委員会は、最後の最後の最後まで、100名拡大を目指して頑張っております!!

是非とも、会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

会員拡大委員会 元杭 由佳

11月度例会のご案内

開催日 ■ 11月9日(月) 18:30~ 会場 ■ ホテルニュータガワ

11月度例会は事業報告例会として開催いたします。

2009年度(社)北九州青年会議所は「社会変革に挑むカタルリストたれ!~わがまち北九州への誇りを胸に~」をスローガンに、6つの運動方針のもとJC運動に邁進してまいりました。

各委員会が6つの運動方針のもと行ってきた2009年度の事業を検証し、LOMの方向性を確認するとともに、今後のJC運動へとつなげ、更なるLOM発展を目指していく場とします。

お問い合わせ先: 例会委員会 委員長 辰本 誠一郎

事業報告例会

北九州青年会議所

検索

<http://www.kitakyushu-jc.jp/>

ホームページで新着情報・イベント情報や活動報告を今すぐチェック!

ケータイからも
アクセスOK!

※機種により閲覧できないページや画像があります。

